

平成25年度

# 米の生産数量目標

68.59トンの減

国では、水田の有効活用により自給率向上を図るため、主食用米の需要拡大と併せて新規需要米・備蓄米の生産・利用の拡大に取り組むこととしています。

また村では、平成25年度も生産者の自主的な取り組みを基本に、経営所得安定対策や水田を活用した産地づくり等、安定した農業収入が図れるよう、関係機関と協力し推進します。

## 県の生産数量目標

昨年12月に示された平成25年度産米の都道府県別生産数量目標によると、米の消費減退とこれに伴う在庫の増加から、全国の生産数量目標は昨年に比べ2万トンの減少の791万トンとなりました。

県産米においても、全国の生産数量目標の減少等が要因となり、生産数量目標は約54・5万トンと昨年に比べ2910トンの減少しました。

## 市町村の生産数量目標

村の生産数量目標は、4682・80トン。平成24年度産米と比較して68・59トンの減となり、面積換算で916・40畝となりました。

## 制度の名称が変更

平成23年度から、農業者戸別所得補償制度が本格実施となりましたが、平成25年度から「経営所得安定対策」と名称が変更されます。

具体的な内容については、まだ説明がありませんが、農家の混乱を避けるため、平成25年度は従来の制度をほぼ維持していくとのことです。

また、村単独助成による支援も予定しています。ご不明な点などある場合は、左記までご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

農林観光課農林振興班

☎64-1447

# 平成24年 交通事故の状況

## 村内では事故件数および

## 負傷者数が増加

平成24年中に村上警察署管内で発生した交通事故の状況がまとめられました。これによると、村上警察署管内では、発生件数・死者数・負傷者数ともに前年

にくらべ減少しています。一方、村内では発生件数及び負傷者数が前年にくらべ増加したものの、交通死亡事故は発生せず、死者数が2年ぶりにゼロとなりました。

昨年、県内における交通事故死者数は107人で、昭和31年(94人)以来、56年ぶりに110人を下回りました。それでも、県内では高齢者が犠牲となる事故の割合が6割を占め、また、村内では車同士の事故が半減したものの、50代の運転者による事故が4割を占めています。

ドライバーも歩行者も交通规则を守り、交通安全に努めましょう。

	年	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
全国	H24	664,907	4,411	824,539
	H23	690,907	4,611	852,094
	増減	△26,000	△200	△27,555
新潟県内	H24	8,383	107	10,207
	H23	8,983	133	10,971
	増減	△600	△26	△764
村上警察署管内	H24	178	4	233
	H23	197	6	241
	増減	△19	△2	△8
関川村	H24	13	0	18
	H23	10	2	11
	増減	3	△2	7

## 平成25年3月1日～3月31日 シートベルト・チャイルドシート着用強調月間

### 全ての座席でシートベルト着用の徹底

県内において、後部座席のシートベルト着用率は44%で低い数字となっています。すべての座席でシートベルトを着用し、被害の軽減を図りましょう。

### チャイルドシートの正しい使用の徹底

県内における使用率は46.5%で、全国平均(58.8%)を大きく下回っています。特に年齢が上がるにつれて使用率が低くなっています。

大切な命を守るためにも6歳未満のお子さんには、必ずチャイルドシートを使用させましょう。



# 学校からのお知らせ

今日は関川中学校からの紹介

**1年間を振り返って**  
～地域の皆さまに支えられた  
関川中学校～

体育祭・文化祭などの学校行事を参観いただきありがとうございました。



職場体験学習や地域清掃等で、生徒を受け入れてくださりましてありがとうございました。



たくさんの地域行事に参加させていただきありがとうございました。



貴重なご意見や、さまざまなお指導をいただきありがとうございました。



来年度もさまざまな体験活動を通して、生徒一人ひとりに「たくましく生きる力」を育てていきます。地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

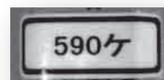
お家に眠っていませんか？

## 図書室の本

～本の返却にご協力ください～

図書室では、約200冊の本が返却期限を過ぎても貸し出されたままとなっています。

下のようなバーコードと、背表紙に請求記号の記されたシールが貼ってある本は、図書室の本です。（番号はそれぞれ違います）



一度貸し出した記録は、返却されるまで残り続けます。返却期限が何年過ぎていても構いませんので、図書室へ返却してください。

## 3月は引っ越しのシーズン

### 家具の転倒防止対策を しっかりと！

地震が発生すると、転倒した家具の下敷きや割れたガラスなどにより、けがをしたり、最悪の場合死亡したりするケースもあります。中越大地震や中越沖地震のときも家具の転倒やガラスでケガをした人が大勢いました。

こうした家具の転倒などは、転倒防止器具の取り付けやガラス飛散防止シートの貼り付けなどで防ぐことができます。

この機会に、いつ起こるか分からない地震に備えてお住まいの対策をご検討ください。

【問い合わせ先】

役場総務課 総務班 TEL 64-1476

